

「志村小学校・志村第四中学校 小中一貫型学校改築 基本設計」
 における説明会及び意見書でのご意見とその回答について

◆説明会の実施状況

開催日	時間	開催場所	参加人数
3/7 (火)	18:30~20:30	志村小 体育館	21人
3/9 (木)	18:30~21:30	志村第四中 体育館	20人
3/11 (土)	14:00~17:45	グリーンカレッジホール 3F 教室1	30人

◆意見書の提出者数 ⇒ 15名

NO	会場	内容	回答
S1	志村小	不登校児童生徒の居場所についてはどのように考えているのか。	不登校対策の部屋について、今日の図面には記載はありませんが、学校を含めてどういった場所を確保し、どういった設えにしていくかについて、検討を行っているところです。専用の部屋が必要なのか、ほかの部屋と兼用でクールダウンできるような部屋を用意するのか、など学校と打合せし、決定していきます。
S2	志村小	運動会はどのように行うのか、具体的に教えてほしい。	小学校と中学校でそれぞれ実施する方法や、一貫校の良さを生かして、合同で実施する方法など様々な実施方法が考えられると思っております。今後、学校、CS 委員、PTA 含め、運動会の方法を具体的に決定していきます。小学校、中学校それぞれで実施することは可能だと考えています。志村小は現在の校庭より広くなり、志村四中は狭くなるため、運営の方法は今後考えていく必要があります。合同で運動会を実施する場合は、全部の種目を合同で行う、一部の種目を合同で行う、あるいは小学校高学年は中学校の運動会に参加する、など実施方法はいろいろ考えられると思っております。これまで別々だったのが、一貫校になることによって、運営の幅が広がると考えております。合同

NO	会場	内容	回答									
			にする場合、実施時間が長くなることや、出番の数について検討する必要があると考えています。現在、なるべく校庭を広く確保できるように検討しています。コロナ対応で学年ごとに時間を区切る方法を実施していることでもありますので、保護者、学校の意見も踏まえて、今後検討していきます。									
S3	志村小	現状の志村小、志村四中との違いがよく分からなかった。校庭がどれくらい狭くなるのかななどを教えてほしい。現状との比較がないと、良い学校になるかどうか分からない。今後の説明で、比較資料を提示してほしい。	<p>※説明会で、回答できなかった数値もあったため、後日確認した数値を以下に記載します。一貫校の数値については、計画段階の数値になります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一貫校</th> <th>既存小中合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外運動 場所面積</td> <td> <p>●8900 m²</p> <p>※緑地含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北側校庭 4800 m² ・南側広場 1700 m² ・志村小跡地 2400 m² </td> <td> <p>●9969 m²</p> <p>※施設台帳上面積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志四中校庭 7419 m² ・志村小校庭 2550 m² </td> </tr> <tr> <td>屋内運動 場所面積</td> <td> <p>●2055 m²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋体中 860 m² ・屋体小 835 m² ・武道場 360 m² </td> <td> <p>●1835 m²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志四中屋体 770 m² ・志四マルチ 640 m² ・志村小屋体 425 m² </td> </tr> </tbody> </table>		一貫校	既存小中合計	屋外運動 場所面積	<p>●8900 m²</p> <p>※緑地含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北側校庭 4800 m² ・南側広場 1700 m² ・志村小跡地 2400 m² 	<p>●9969 m²</p> <p>※施設台帳上面積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志四中校庭 7419 m² ・志村小校庭 2550 m² 	屋内運動 場所面積	<p>●2055 m²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋体中 860 m² ・屋体小 835 m² ・武道場 360 m² 	<p>●1835 m²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志四中屋体 770 m² ・志四マルチ 640 m² ・志村小屋体 425 m²
	一貫校	既存小中合計										
屋外運動 場所面積	<p>●8900 m²</p> <p>※緑地含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北側校庭 4800 m² ・南側広場 1700 m² ・志村小跡地 2400 m² 	<p>●9969 m²</p> <p>※施設台帳上面積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志四中校庭 7419 m² ・志村小校庭 2550 m² 										
屋内運動 場所面積	<p>●2055 m²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋体中 860 m² ・屋体小 835 m² ・武道場 360 m² 	<p>●1835 m²</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志四中屋体 770 m² ・志四マルチ 640 m² ・志村小屋体 425 m² 										
S4	志村小	これまでの説明会には小学校や中学校の校長先生が参加されていたが、今回不参加なのはなぜか。できれば参加してほしい。	校長先生に出席を依頼しましたが、本日は都合がつかず、不参加となっております。									
S5	志村小	小中共用の理科室が計画されているが、理科室は小学校何年生から利用する想定か。	理科室は、小学校3年生からの利用を想定します。									
S6	志村小	現在想定している理科室の数で、小中の理科の授業の時間数は運用できるのか。	<p>基本構想基本計画の中で、学習指導要領に定められている時間数などから運営可能な室数を計算しています。</p> <p>理科室を利用する授業数は、3～6年生で43.8時間/週、7～9年生で55時間/週を想定しています。特別教室の教室数を決める際、教室の稼働率80%</p>									

NO	会場	内容	回答
			を越えると授業のカリキュラムが組みづらくなることを踏まえ、小学校で稼働率 61%。中学校で稼働率 73%となるように教室数を確保しています。
S7	志村小	小学校と中学校で休み時間が異なるが、同じ建物でチャイムなどはどのように運用するのか。	現在、志村小はノーチャイム、志村四中ではチャイムを使った運用をしています。新校舎では、今後、学校と協議し、運用にあった設計をしていきます。
S8	志村小	特別支援学級について、小中の連携ができるのは良いと思う。志村小学校の通学区域外から入学することはできるのか。	普通学級については、入学予定校変更希望制により、中学校は区内全域より申込ができ、小学校は、通学区域と隣接通学区域のみ申込ができます。希望者の数が受入れ可能数を超えた場合は、抽選となります。 また特別支援学級については、教育支援センターに相談係があり、そちらにご相談いただき、自宅からの距離や学校の設備などを鑑み、相談しながら、入学する学校を決めていくこととなります。
S9	志村小	1 クラス何人想定か。今の小学校に比べて、教室の広さは狭くなるのか、同じくらいの広さなのか知りたい。	現在、小学校は 35 人学級に移行している段階であり、新校舎完成時は 35 人学級となります。ただし、35 人を超えた場合、36 人を 2 で割ることになるので、実際のクラス人数としてはそのときの人数となります。 教室の広さは、今までの教室より大きく計画しています。今の教室は 64 m ² 程度ですが、今回は 72 m ² にて計画しております。
S10	志村小	中学生の給食を食べるスペースはどこですか。また狭くはないですか。	給食は HB の隣の教室で食べることとなります。そのため狭くはないです。また HB は登校した際に、自分の荷物を入れたり、授業の道具を入れたりするスペースです。
S11	志村小	門がたくさんあるが、不審者対策は問題ないのか心配である。生徒・児童が入りやすい計画だが、不審者も入りやすい計画となっているのではないか。	学校敷地の周囲は、フェンスで囲う予定です。門扉の設置については、学校との相談になりますが、地域の方が入りやすい雰囲気を作ることであれば、例えば鍵は開けておくが門は閉めておくということもありますし、セキュリティを重視するというのであれば、インターホンを鳴らして先生が開けに行くなど、その時々で運用は、変化する可能性があります。ただし、安全性を守りたいときには守れるような学校の設えにしたいと考えていま

NO	会場	内容	回答
			す。
S12	志村小	グラウンドの広さ、広場の広さはどのくらいか。	現時点での想定ではありますが、グラウンド 4650 m ² 程度、広場 1200 m ² 程度を計画しています。 ※想定される緑地部分を除いた面積になります。
S13	志村小	計画のグラウンドの広さで、運動会での保護者の観覧スペースは想定されているのか。	現在は、コロナ感染予防対策として、競技をしている学年の保護者のみが校庭に入ることができるという運用を実施している学校もあります。そのような運営方法や校舎からの観覧なども含め、保護者がしっかりと観覧できるよう、学校とも協議し、設計を進めていきます。
S14	志村小	計画の広場の広さでは、児童全員で遊ぶのは難しいのではないかと。	現状、志村小では中休みに校庭を使う学年を曜日で設定して運用しています。運用方式などのソフト面での対応を含め、児童全員が遊ぶことができるよう、学校と協議しながら設計をすすめていきます。
S15	志村小	小学生と特別支援学級の更衣室はどこを想定しているのか。4 階の更衣室は移動が大変だと思ふ。	カーテンを設置し、更衣できるスペースを各階に配置することなどを検討し、移動に難が生じないような設計としていきます。
S16	志村小	体育館の大きさはどのくらいか。	現在の計画で、舞台を除くアリーナ部分の面積で、2 階の小学校体育館 835 m ² 、4 階の中学校体育館 860 m ² を想定しています。現状の志村小の体育館は 425 m ² 、志村四中の体育館は 770 m ² のため、体育館はどちらも広くなる計画です。
S17	志村小	3 階や 5 階に体育館を観覧できる窓はつくのか。観覧できるようになったら良いと思う。	現時点では平面的な検討段階のため、ご意見を踏まえて、そういったことが可能なのか、今後検討していきます。区内の体育館で、上の窓からのぞける事例もあるので、今回の計画で観覧スペースが確保できるか含めて、検討課題とさせていただきます。
S18	志村小	板橋三中と比較してほしい。板橋三中は校庭が広く良い環境である。	板橋三中との比較は行っておりません。
S19	志村小	北側のグラウンドは、日当たりが悪く環境が悪いのではないかと。	校庭が北側になるデメリットの解消については、設計の中で検討しています。例えば、校舎の影になり、水はけが悪くなる点については、土ではなく人工芝

NO	会場	内容	回答
		また、100m直走路ではなく、80m直走路は中途半端だと思う。	にすることで解消することなどを設計で検討しています。 100mの直走路の確保は難しいため、80mの直走路を計画しています。80mで決定というわけではなく、学校のご意見を伺いながら決定していきます。
S20	志村小	小学校の教室は南向きで日当たりが良いが、中学校の教室は北向きで日当たりが悪く、寒いのではないか。	今回の敷地形状や規模を考えると、教室の一部が北向きであることは避けられないと考えています。教室が北向きとなることは、日照の観点から考えると、避けられるなら避けた方がよいと考えますが、絶対に避けなければならない事項とは考えておりません。また区内でも中台中学校や赤塚第二中学校でも、北向きの教室はありますが、寒くて授業が行えないという報告はありません。
S21	志村小	体育館の広さはバスケットボールコートを確保できるか。	正式なバスケットボールコート1面、練習用コート2面が確保できる広さを計画しています。
S22	志村小	先生の意見にはどのようなものがあったか。	これまで学校の先生に対してヒアリングを行ってきました。1つはワークショップで、教職員の方に集まっていただき、これからの学校をどう作っていくかなどについて意見をいただきました。例えば、先生の職場環境をどう作っていくか、現状の志村四中の特別支援の職員室が一般の職員室が分かれていることに対して、意見交換が行いやすいよう一体的な職員室が良いとの意見をいただきました。今回の計画では、2階の職員室をなるべく広く確保し、小学校、中学校、特別支援学級の先生方が集まれるスペースを検討しています。今後も先生方の意見を聞きながら設計を進めていきますが、これまでの意見も踏まえて設計に活かしていきます。一例ですが、先生からの意見を反映した計画とします。
S23	志村小	体育館の高さは球技ができる高さになっているか。	2階の小学校体育館は梁下6m、4階の中学校体育館は梁下10mを確保する計画を想定しています。
S24	志村小	入学式や卒業式を行う際、保護者の動線はどうなっているのか、またこどのような形で行	具体的な動線は学校が出来上がったときに一番入りやすいところから入っていただく形になると考えています。

NO	会場	内容	回答
		われるのか。	どのように行っていくかは、まだ決まっていなく、実施できる運用方式を学校と考えていくこととなります。 例えば、卒業生が体育館に入り、在校生は教室で見るという運用や、保護者の参加人数の制限などの運用にて、体育館に入る人数を減らすことも考えられます。具体的な運用については、学校と決定し、その運用にあった設計を行っていきます。
S25	志村小	この学校は何のために作るのか。	子どもに対し、良いより教育環境を提供するためにつくります。
S26	志村小	地域住民の理解が大事だと思うが、今回の計画については、地域住民に説明しているのか。 地域住民の納得は得られているのか。	これまでも計画自体は、地域に周知しています。また、志村四中の近隣住民の方には、建物等による具体的な影響と対策等の説明をしております。近隣住民の方からは、校舎配置や規模が変わることに伴う日影や音、視線などに関する懸念事項をいただいておりますので、設計にて解消できる点については、対応していきたいと考えております。
S27	志村小	地域住民の意見により、設計を変更することはあるのか。	すべてのご意見を反映できるわけではありませんが、ご意見により変更することもあります。対応させていただいた一例としては、当初、プールは、屋上の南側に計画していましたが、南側近隣住民から地震時にプールの水が屋上から溢れ、家にかかるのではないかとという不安の声をいただきましたので、プールを北側に変更しました。
S28	志村小	今日の説明会の参加者が少ないが、周知が足りていないのではないのか。基本構想基本計画のときも同様の意見があったと思うが、周知方法を改善していないのか。	改善しております。改善した内容としては、志村四中と志村四中通学区域にかかる小学校の全児童生徒に説明会開催の案内を配布し、志村四中の近隣の方には、説明会開催の案内をポスティングにて配布しています。また、説明内容を動画にし、配信することを予定しています。
S29	志村小	検討委員の意見だけでなく、アンケートなどでもっと広く意見を聞いてほしい。 アンケートでは、校庭面積が半分になる点、日陰の校庭となる点を踏まえて、計画案への賛	校庭については、既存より狭くなるから運営ができないということではなく、この規模でこういった運用によって学校運営ができるかを学校とともに考えていくものだと思っております。また教科教室型の運営については、区の方針として改築校は教科教室型を基本としていくことを公表しています。今まで、

NO	会場	内容	回答
		成反対と HR のない教科教室型の運用のメリット、デメリットを示した上で、計画案への賛成反対を聞くべきだ。	赤塚第二中、中台中、上板橋二中で教科教室型方式を実施してきました。これまでの区の方針により、今回の計画も教科教室型方式を採用します。
S30	志村小	小中一貫化により、中学生への憧れが生まれると説明されているが、憧れだけが生まれるわけではないと思う。中学生は思春期、反抗期であり、言葉遣いが荒くなったりするので、小学生にとって悪い影響もある。一緒にすることでメリットがあるというのは教育を知らない方の意見に感じる。そういうことも含めて、よく勉強して発言してほしい。	小中一貫型の学校については、全国で取り組みがあり、他自治体で成果が確認できています。そのあたりを分かりやすく伝えていきたいと考えています。いただいた心配の声は、しっかり受け止め、子供たちが安心して通える学校となるように進めていきたいと考えています。
SC1	志村四中	7階建てから5階建ての校舎になることで、今の学校と比べて、狭くなることはないのか。校庭や教室が狭くなっているなどはないか。	校庭は、現状の志村四中の校庭よりは狭くなります。現状の志村四中の校庭が7400㎡、志村小の校庭が2800㎡、合わせて10000㎡弱です。それに対して、計画案の北側校庭が4800㎡、緑地部分を除いた南側広場は1200㎡で合計6000㎡程度となっています。また、志村小跡地の第二グラウンド2400㎡程度を整備する予定であり、それを合わせると8400㎡程度となります。 教室の広さについては、従来の教室より広く計画しています。現状8m×8mに対して、計画案では8m×9mの72㎡としています。
SC2	志村四中	小学校のトイレが2学年に1か所となっているが、トイレの数が足りないことはないか。各学年に1か所必要ではないかと思うが、どういった考えなのかを教えてください。	トイレの器具数については、各階にいる児童・生徒の数から必要な数を算定し、計画しています。 今までの学校では建物の両端にトイレがありましたが、設計の考えとしては、2つに1か所に集めて、トイレの数が足りないなどがないように、1か所に十分な器具数を設置することを考えています。
SC3	志村四中	教科教室型方式は生徒の休み時間の移動が大	教科教室型方式は赤塚第二中学校、中台中学校、上板橋第二中学校で運用して

NO	会場	内容	回答
		変なのではないか。3階で授業を受け、4階のHBに荷物を取りに行き、また3階の教室に戻るなどがあるということか。	います。実際の生徒たちは同じ階での授業が続く場合には、サブバックのようなものを用意して、授業に必要なものを持って運用しているという話を聞いています。
SC4	志村四中	工事期間中の生徒たちへの配慮は検討できているのか。	仮設校舎がない工事計画であるため、校舎の中での活動については現状と変わらず運用できます。校庭については、新校舎建設場所なので使用できないため、部活動の場所などについては、近隣の小学校などにご協力いただき、なるべく今と同じ活動ができるようにしていく予定です。
SC5	志村四中	工事期間中の騒音・振動について、生徒たちへの配慮は検討できているのか。授業中に、大きな騒音・振動がないようにできるのか、現時点で検討ができていないと安心できません。	工事上、騒音・振動を全くなくすことはできませんが、設計を進めていく中で、騒音・振動に配慮した工法を選定するなど、検討を進めてまいります。
SC6	志村四中	既存校舎に隣接して工事を行うと決めた以上は、他の工事よりは十分な配慮をしてほしいです。中学校3年間をすべて工事期間中で過ごす生徒もいます。	低振動・低騒音型の重機の活用や防音パネル・シートの設置、また警備員の配置、騒音工事時間帯の制限など教育環境や近隣の方々へ出来る限りの配慮を行いながら、工事を行っていきます。
SC7	志村四中	グラウンドやプールは周囲から見られないような囲いがありますか。不審者対策、変質者対策はできるのか。	グラウンド周囲には防球ネットを設置する計画ですが、外から見えないような仕様にする計画ではありません。現状の学校と同様に外からも中からも見えるようなものとなります。セキュリティについてはフェンスを設置するなど十分に対策を行います。 プールについては、屋内化する予定の為、外から見えるようなことはないと考えています。
SC8	志村四中	以前、小学生と中学生が混じわることがないように配慮してくださいと意見を出した。計画案では小中のゾーン分けをしているが、特別教室は共用としているので、混在して危険	特別教室を利用するのは、小学校中学年からとなるので、体格差による危険は少ないと考えています。小学校低学年は基本的に普通教室での授業を行います。

NO	会場	内容	回答
		はないのか。	
SC9	志村四中	新校舎完成後に既存校舎の解体工事があると認識している。長い工事期間中、建設会社と検討し、十分配慮してほしい。	解体手法などについては、今後、設計にて検討を進めます。また工事業者は、設計が終わってから決まりますが、工事業者からも解体の手法についての提案などをいただき再度、検討をしていく考えです。
SC10	志村四中	建物は鉄筋鉄骨コンクリート造か。体育館も含めて、どのような構造なのか教えてほしい。	基本的に鉄筋コンクリート造で計画しています。体育館の屋根については鉄骨造を想定しています。
SC11	志村四中	耐震性能・耐火性能はどのような計画か。	耐震性能は、通常の建物の1.25倍の耐震を確保するよう計画しています。耐火性能について、耐火建築物として計画しています。
SC12	志村四中	工事のスケジュールは具体的に決まっているのか。	令和6年度から工事を開始し、3年間の工事を想定しています。ただし、昨今の材料不足など情勢もあるので、設計段階で工事期間についても十分に検討し、決定していきます。令和9年度中の開校を目指して、設計業務を進めている状況です。
SC13	志村四中	工事期間3年の中に、新校舎完成後の解体工事やグラウンド工事も含まれているのか。	新校舎完成後、既存校舎からの引っ越し作業も必要となり、引っ越し可能時期が限定されるため、完成後すぐに開校できるわけではありません。そのあたりは、設計期間中に検討し、スケジュールを決定します。
SC14	志村四中	工事スケジュールが具体的に決定し、提示されるのはいつ頃か。	令和5年度の後半頃に決定し、その後提示予定です。
SC15	志村四中	この計画について、反対している人がいる。教育委員会の姿勢は計画を進めること前提で説明会を開催しているように感じる。何%の方が反対しているかを把握しているのか。	何%かについては、具体的には把握しておりません。反対している方々の会合に出席したことはございませんが、チラシ等は確認しています。約1300人の方の署名を受領しているので、その点については把握しています。
SC16	志村四中	代表者、委員の方がどういうヒアリング、調査をして、意見を集約して出席しているかを認識しているか。	委員の方がどのように意見集約しているかについては、把握はしていません。それぞれの団体代表として強い責任感をもって委員を担っていただいている、と認識しております。
SC17	志村四中	校長先生にお聞きしますが、全職員の意見を	全職員一人ひとりに意見を聞いているものではありませんが、朝礼などの機

NO	会場	内容	回答
		聞いたり、全生徒の意見を聞いたり、集約して出席しているのか。	会を捉えて計画の進捗状況は周知していいいます。
SC18	志村四中	プロジェクトを推進してほしくないという方の意見はどうして聞かないのか。	推進してほしくないという声は届いてございます。令和2年2月に陳情という形、昨年の12月にも陳情という形、また今年の2月に請願という形で、直接届いてございます。区議会でも様々な議論はされております。
SC19	志村四中	教育委員会の進め方は正しい方法かもしれないが、心が通っていない。考え直してほしいという人たちの声をなぜ聞いてくれないのか。プロジェクトを白紙に戻して考え直してほしい。きれいごとではなく、本質的な議論をやってください。教育委員会として検討してほしい。	おっしゃっていただいたような声はしっかり受け止めさせていただきながら、板橋区初の小中一貫校ということで、本日どういった学校生活になるのかというところを中心に説明しました。また、ご意見いただいた、ところをもっと少し分かりやすくお伝えしていくということが、我々としての責務であり、様々な声をしっかり受け止めさせていただきまして、その声に対してしっかりご説明させていただきたいと考えております。
SC20	志村四中	中学校の授業が教科ごとになることをみんな知っているのか。たぶん知らないのではないのか。期末試験などはどうするのか。教科ごとに期末試験を受けるのか。	試験の運用については問題ないと思います。
SC21	志村四中	プールは小学校と中学校が共用で問題ないのか。体格差や水深の問題があると思う。	水深はかえる必要があると認識しています。水深調整については、可動床の設置や、水量調整などの手法で行うか検討中です。
SC22	志村四中	反対意見がでていいる中で説明会を行ったから終わりということにしないでほしい。	今回の計画は、協議会からの意見を最大限に尊重し、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、計画を見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
SC23	志村四中	教室の配置について、小学校は南向きだが、中学校は北向きである。問題はないのか。このよ	この校舎配置は北側に中学校校舎がありますので、暗いことがないように照明設備を設置します。また、校庭については日が当たる校庭、北側にあるので

NO	会場	内容	回答
		うな教室配置は板橋区内で聞いたことがないように思う。暗い教室で子供たちに良くないのではないか。中学校の教室もすべて南側に向けてほしい。校庭も北側で日陰になるのではないか。その辺はどのように考えているのか。	日陰が多いのではないかという声もあるとは思いますが、1年中校庭が日陰というわけではありません。外に出たときに太陽の光を浴びる、そういった機会南側にあるのが望ましい、今までの校舎、元々昭和40年代に建てられた校舎については南に校庭をとる校舎が多かったのは事実ですが、全くこういった校舎がないかというところについてはそういうわけではありません。子供の健康につながるような活動ができるようなことについてはもっと徹底して検討していきたいと思います。 南側ではなく北側に校舎がある学校はあります。日陰についてはその校舎の向きによって違いますので、全く同じ形の校舎であるかということ、そうではないところがございます。ただ、校舎配置的に北側にある校舎はあります。
SC24	志村四中	教室が北側に向いている学校はどこですか。いくつあるのですか。	今すべての学校のデータを持ち合わせているわけではないので、正確な数というものはお答えできません。 【参考】 区内の学校では、中台中学校、赤塚第二中学校に、北向きの教室があります。
SC25	志村四中	中学生がずっと北側の教室で勉強するっていうことは考えられないので、考え直してほしい。	今回の敷地形状や校舎規模を考えると、教室の一部が北向きになることは避けられないと考えています。また区内にも南側ではなく北側に校舎がある学校はあり、教育環境に問題があるなどの報告はないため、この配置にて考えています。
SC26	志村四中	避難もあるので、階段をもう少し広くしてほしい。昇降口に近い階段を広くなるように検討をお願いしたい。	避難時や通常時の移動に配慮し、引き続き検討していきます。
SC27	志村四中	2階の小学校が使う体育館に更衣室がないので、検討をお願いしたい。	小学校の更衣室について、今の多くの学校では教室にカーテンをつけて閉めることで更衣をしているというところもございますので、着替えの方法含めて検討を行っていきます。
SC28	志村四中	トイレを多く、広くしてほしい。小学生でトイレ	使いやすいトイレとなるよう、形状や配置などについて、今後の設計にて検討

NO	会場	内容	回答
		しを失敗することがあるので、ぜひ検討してほしい。	させていただきます。
SC29	志村四中	計画が止まってほしい。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
SC30	志村四中	階段の広さはどれくらいか。今日の資料では狭いのではないかという印象をもった。避難のときは一方通行になると思うが、普段はすれ違うことができるのか。階段の数は建物の広さと生徒数に対して、基準を満たしているのか。	階段の幅については 1.8m で計画しています。およそ3名の生徒が避難の際、一方向で降りていける幅です。階段の数については、建築基準法に則った形で設計事務所として設計しています。
SC31	志村四中	教室を広くしたということだが、教室が確保された分、準備室や教材室が不足しているのではないか。	教材室については、今日の資料では教材室や倉庫などを表現していませんが、しっかり確保する計画です。もっと大きな図面で表現し、学校の先生に確認していただく予定です。
SC32	志村四中	多目的室が教室の 1.5 倍の大きさだが、この広さでは2クラス程度ではないかと思う。一貫校になるから交流スペースをとりますと説明をしているが、よく見ると非常に小さくて、窮屈である。	交流スペースは使い方によって、武道場や体育館なども集まれる場所として想定しています。
SC33	志村四中	給食室について、小学生のアレルギーが増えているので、除去食をものすごく細かくやっている。そういう細かな配慮をした給食が小中で1つの給食室になって提供できるのか。	給食室について、生徒、児童のアレルギー対応は細かい点まで対応させていただいております。実際に、調理室の中に入って、どのようにアレルギー対応、除去食対応をしているか見てきたこともございます。今回給食室は1か所ではございますが、小学校と中学校の調理が別々にできるように2系統で調理

NO	会場	内容	回答
		献立はどうなるのか。統一献立にするのか。栄養士の方はどういう配置になるのか。	<p>が進むことができるような設えを考えています。当然、アレルギー対応も安全に実施します。</p> <p>献立については、同じ献立になる可能性もありますし、別の献立になる可能性もあります。これからの検討となります。</p> <p>栄養士の方は、小学校と中学校で1名ずつ配置となります。</p>
SC34	志村四中	特別支援学級の小中とステップアップ学級がまとめられている点にびっくりした。特別支援学級の中学校は中学校ゾーンにあっても良いと思う。見直してほしい。またステップアップ教室ともまとめて配置されていることも、すごく嫌だ。インクルーシブを意識した設計にしてほしい。	特別支援学級の配置については、小中一貫型学校を作っていくにあたって、令和4年の4月に小中一貫型学校の施設整備方針、小学校と中学校をつなぐ方針を定めております。そちらの中で、特別支援の関係諸室につきましては、児童・生徒の9年間をつなぐ教育活動や支援を円滑かつ効果的に配置する、特に固定の特別支援学級については同じ環境で9年間をつなぐため、同じ階での配置とするという考え方をさせていただいております。
SC35	志村四中	図書館が小中共有だが、小学校と中学校は発達段階が違う。小学生には見せられない内容も中学生には教えなくてはいけない、戦争や性教育などの内容がある。1つの図書館にするのはかなり無理がある。小学校と中学校の図書館を分けて作るべきだ。	9年間の学びや小学生と中学生の交流の場といった観点より今回の計画では、図書館は、小学校と中学校をつなぐ交流ゾーンに一か所として設計しております。図書の選別、利用の仕方にも関連する詳細の設えについては、今後の設計で検討していきます。
SC36	志村四中	教科センター方式について、上板橋第二中でのアンケートを把握しているか。 上板橋第二中は令和5年2月21日学校だよりにて教科センター方式についてのアンケートを実施している。教科センター方式がすべてダメというわけではないが、やっぱり子供たちの移動が大変だとか、重い荷物を持つ移	上板橋第二中はこの4月から始めているためアンケートは把握していませんが、今までやっていた赤塚第二中学校や中台中学校でのアンケートを取って一定程度、子どもの自主性や行動変化の結果を得ています。

NO	会場	内容	回答
		動で足への負担があるとか、そういう意見が出ている。教科センター方式の利点ばかり言うが、悪い点も出ているので、それは対応してほしい。	
SC37	志村四中	工事期間中、悪い環境で中学生を送る生徒に対して、配慮した何か手立てがあるのか教えてほしい。現段階での検討内容でもよいので教えてほしい。	工事中の3年間の配慮については検討しているが、具体的にどのような方法かというのは今日説明できる段階ではありません。
SC38	志村四中	志村小、志村四中での一貫は無理があると思う。狭いところに2つの学校を作ることになる。子供のより良い教育環境を作るという観点であれば、他のところで小中一貫の検討を始めるべきだと思う。検討の蓄積があるからこのまま進めるとするのは民衆の声を聞いてないと思う。現段階で反対する人を説得するのは後々、遺恨を残す。まずは計画を見直すべきである。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
SC39	志村四中	地域住民からの意見や質問に対して、回答を朗読されると、コミュニケーションが上手くいっていないように感じる。地域住民だっていい学校を作りたいと思っている。だからこそ、今の計画だとちょっと難しいのではないかと、だから立ちどまって考えようと言っている。そういう声を聞いてほしい。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
SC40	志村四中	子どもたちへの愛情が感じられない計画だと	志村小改築検討から現在までの経緯や、また区内にも、北向きの教室・校庭配

NO	会場	内容	回答
		思う。北向きの教室、北向きの校庭は聞いたことがない。今の志村小、志村四中也全部南向きである。元々の学校をそのまま建て替えたら何も問題がないのに、どうしてこんな無理な計画にするのか。	置としている学校はあることから、今回の計画は、志村四中敷地の中でできる最善案であると考えております。
SC41	志村四中	今日出席している区の職員の方はこの計画の発案者じゃない。発案者、計画の責任者と議論したい。次回の説明会に出席してほしい。	説明会などの状況について、教育長には、毎回報告しており、教育長の見解、方針は教育委員会事務局の説明、回答、意見と同じであるため、今後も教育委員会事務局が責任をもって説明、対応します。
SC42	志村四中	別々に建て替えた場合の予算、一貫校にした場合の予算が知りたい。一貫校にした場合、国の補助が出るとも聞いているので、区の負担額がいくらになるのかを教えてください。	近年、区内で建設した学校を参考にお伝えすると、令和2年度に使用開始した板橋第十小学校は約40億強、令和4年度に使用開始した上板橋第二中学校は約50億強です。一貫型学校の工事費については、設計発注時の計画概要では、83億程度となっています。国の補助率は1/3程度となりますが、詳細の補助金額については、現段階ではわかりません。
SC43	志村四中	校長先生に質問ですが、子供たち全員にこういう学校になるということを説明されたのか。校庭が狭くなることなど。運動が思い切りできない、北向きになる、この学校は子供たちが嬉しいとは思えない。地域や保護者の意見も大事だが、子供はこの計画に賛成しているのか、意見を聞いたのか。	志村四中の在校生は、一貫型学校の完成時には卒業しているため、直接関わってくる子どもたちには意見をきくことはできない状況です。自分たちが卒業したあと、どういう学校になっていたら良いかということで、8年生を対象にヒアリングをしておりますが、自分たちが通うということではなかったため、現実味がなかったと思います。まだ子どもたちに具体的に意見を聞く段階ではないと思っています。
SC44	志村四中	校長先生に質問ですが、この計画について、教職員からの意見を正式に聞いたことはあるか。	正式にというと答えるのが難しいが、こういう予定だからということと、決まったことがあるときにこんなふうに進んでいますという話はしています。教室の配置については、全職員に配布し、意見を集め、教育委員会に報告しています。今の段階だと、広さがどのくらいかなどわからないので、位置関係だけ

NO	会場	内容	回答
			で意見をくださいという形で聞いております。意見としては、特別支援学級の配置などが出ていました。
SC45	志村四中	小学校5年の娘に、中学3年間工事中になるので他の中学校に行くかを聞いたら、友達と離れたくないから、校庭がなくても、授業中うるさくても我慢して志村四中に行くと言った。だから親としては、行くからには少しでも良い方になってほしいと思って今日の説明会に参加している。子供にあまり我慢をさせたくないなので、少しでも楽しく過ごせるように検討してほしい。	工事期間中の騒音・振動については、工事業者などと、最善の対策、対応を行っていきたいと考えております。また、ソフト面の取組についても検討しており、少しでも良い教育環境となるよう、努めてまいります。
SC46	志村四中	今日の資料の平面図だけでは、具体的にイメージがわからない。各部屋の立体模型を作って、先生などの意見を聞くべきではないか。そして意見を反映して、毎回模型を作るべきではないか。	今後の先生へのヒアリングについては、今日の資料の図面をより拡大した詳細図で行う予定をしております。使い勝手やスケール感が分かるような図面で、設計内容を確認していきます。立体模型でのヒアリングは現段階では予定しておりません。
SC47	志村四中	ヒアリング用に立体模型を作らない理由は何か。予算や時間の問題か。模型も作れないくらい予算がないのか。	限られた予算の中での事業であるため、対応は難しいと思っております。設計契約をし、設計を進めている。その中に、室内の模型作成は含まれておりません。分かりづらい点については、より分かりやすい図面を作成する予定です。
SC48	志村四中	模型があればイメージがわくという意見に対して全く対応しないのは、真摯に計画に取り組んでいるようには感じられない。模型の予算をつける努力もしないのか。	限られた予算の中での事業であるため、対応は難しいと思っております。模型作成の予算をつけることは考えておりませんが、パース等できる対応を検討していきます。
SC49	志村四中	図面ではなく模型で説明してほしい。模型を	模型を作っていないわけではないですが、今ある模型は建物の外観は周囲を

NO	会場	内容	回答
		作らない理由は何か。模型を作っているのであれば、土曜日の説明会に持ってきてください。	含めた全体模型です。お話にあったような各部屋の内部の模型ではないです。
SC50	志村四中	2次元の図面ではなく、3次元の模型などじゃないとイメージできない人もいますので、模型を提示してほしい。	ポイントになる部分については、パースを作成する予定です。一方で、すべての室について、3次元などのパースを作成することは今のところ考えておりません。それは契約上の条件もありますし、時間の問題、設計期間もあります。令和6年度からは工事着手という予定で計画を進めております。その関係で、言われたようなことまでは対応が難しいということになります。
SC51	志村四中	スケジュールや予算が決められているから、模型を提示することに対応できないというのは理解できない。	出来ることについては、対応したいと考えておりますが、出来ないこともございますので、ご理解ください。
SC52	志村四中	模型ではなく、3Dモデルでイメージ映像を作るなどでも良いので、もっと分かりやすい表現も提示してほしい。	できる範囲での対応を検討していきたいと考えています。
SC53	志村四中	これまでの説明会にも参加してきたが、意見を言っても説明会のたびにがっかりしてきた。最近自宅のポストに個別に対応致しますというお手紙が届いていますが、それとこの説明会とどう違うのか。個別の対応というのはどういうものなのか。	個別の対応というのは、志村四中の近隣住民の方におかれましては令和4年9月、11月に個別で説明をさせていただいております。基本的には今日の説明会と同じ、基本設計の内容を説明させていただいております。近隣のお住まいの方については、この建物への意見をお持ちの方もありませんので、個別にお話を伺わせてくださいということで、お手紙を入れさせていただいております。例えば、ご自宅からどれくらいの距離でご自宅からの景色がどうなるのかというようなところを、個別に詳細な図面をご提示するなどの対応ができると考えております。それぞれのお住まいの場所によって、ご説明する内容が異なりますので、全体の説明会ではなく、個別に対応させていただいております。
SC54	志村四中	説明会は、計画を進める前提で意見を言って	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想につい

NO	会場	内容	回答
		<p>くださいというふうに言っている。このプロジェクトについてYesかNoかというところからスタートしてください。白紙に戻して考えるというスタンスがない。進めるという前提の説明会はやめてほしい。原点に戻って考えてほしい。教育委員会と地域住民でボタンを掛け違えていると感じる。</p>	<p>ては、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。</p>
SC55	志村四中	<p>教育委員会と地域住民でボタンを掛け違っているという認識はあるのか。それとも、地域住民が計画を理解できていないと考えているのか。</p>	<p>意見をいただいていることもございますし、説明会の場でもおっしゃっていた方もいらっしゃいます。そういったような声はしっかり認識しております。一方で、この計画は令和元年度の協議会からの意見書を受けて、教育委員会として進めているというところでございます。ボタンを掛け違っているという認識をお持ちの方がいらっしゃることはしっかりと受け止めさせていただきます。</p>
SC56	志村四中	<p>説明会の報告として、住民の納得が得られたわけではないという報告は挙げてほしい。上手く説明会やりましたという報告ではなく。</p>	<p>説明会でいただいた意見については、しっかり報告させていただきます。</p>
SC57	志村四中	<p>区の職員は部署異動があるので、住民の生の声が次の担当に伝わらないのではないかと。教育委員会の学校配置調整担当課長は1年で交代している。反対の意見をしっかり今聞いて、計画を一旦止めて、考えてほしい。</p>	<p>今年度の4月に学校配置調整担当課長になったが、前任からこれまでの内容はしっかり引き継がれております。こちらの計画については、様々な関係者がおり、いろいろな知恵を絞って計画を進めてきたものでございます。これまで近隣の方々、様々な方からご意見いただきました。また、区議会においても区民の代表である議会の場で審議をしてきて、計画を進めているものでございます。こちらの計画自体はしっかりと進めさせていただくというところで、全会一致ではございませんが、ご意見としていただいたものはございます。また、これまでこの計画に携わっている様々な方々の思いをしっかりと受け止めて、計画を進めていきたいと考えて</p>

NO	会場	内容	回答
			おります。
SC58	志村四中	<p>計画に納得できないという意見も出ているが、何をもって住民の理解、納得を得られたと判断するのか。</p> <p>具体的に何割の賛成を得るといふ数値はあるのか。反対派の意見が少数派として処理され、勝手に住民の理解を得られたと報告されるのではないか。</p>	<p>この計画に対する不安の声をいただいていたところでございます。そういった声に対してしっかりとご説明させていただくようにいたします。100人中100人まで納得いただけるというところまではいっていないというのは今現状でございますけれども、そういった方については今後もしっかりと説明させていただくようにします。</p> <p>具体的な賛成何割かという基準は難しいですが、説明会の内容を動画配信し、より多くの方の理解を得られるような取り組みを予定しております。</p>
SC59	志村四中	<p>今日の説明会では住民の理解は得られなかったという認識でよいか。</p>	<p>計画に納得されない方が多かったという認識はしております。</p>
SC60	志村四中	<p>検討会の代表の方の意見は、所属団体の方々に意見を聞いて報告している内容なのか。どのように意見を吸い上げているのかを把握しているか。</p> <p>合意形成ではなく、役職の方々の責任によってのみ、その団体からの意見と扱っているのか。</p>	<p>代表の方々がどのように所属団体の意見をまとめているかというところは把握しておりませんが、その団体を代表してご意見をおっしゃっていただいているということでございます。</p>
G1	グリーンカレッジホール	<p>中学校の教室が北向きのため、日当たりが悪く1年中暗くなると思います。家庭の事情で落ち込んでいる子供もいますが、教室に入る明るい日光が成長期の子供たちに重要かと思えます。日光を体に取り入れることで脳のホルモンバランスにも影響していると、脳科学者の言説も聞いたような気がします。令和4年6月の文部科学省大臣官房文教施設企画防</p>	<p>冒頭での説明の通り、7階建てから階層を低くしてほしい・小中学校のエリア/動線を分けてほしいというご意見から、南側に小学校エリア・北側に中学校エリアという計画にしました。ご指摘のあった日光の件、重要なことと考えています。しかし1年中教室が暗いわけではなく、また日を浴びる体育や部活動などの活動もありますので、採光等配慮しつつも、色々なご要望を受けて配置した計画となっております。実際区内の学校として、中台中は南側北側教室に配置している事例がありますが、成長に問題があったということは伺っていませんが、引き続き音や日光の件は学校の活動等で補っていきながら、学校</p>

NO	会場	内容	回答
		災部が中学校施設整備指針の中で、中学校の普通教室について、日光・採光・通風・換気・室温・音の影響等に配慮した良好な環境条件に留意し、位置方位等を計画することが重要であると書かれていますが、今回の計画ではどのように考えていますか。	と連携していきたいと思います。
G2	グリーン カレッジ ホール	現在の志村小/志村四中の児童生徒数・校庭面積、計画している志村小/志村四中一貫校の児童生徒数・校庭面積を教えてください。	現状、志村小児童数 411 名、志村四中生徒数 520 名です。一貫校開設後は、志村小児童数 400 人、志村四中生徒数 570 名を想定しております。現状、志村小学校の校庭は 2550 m ² 程度、志村四中の校庭は 7400 m ² 程度です。計画段階のため、今後変更の可能性はありますが、現状の計画案では、緑地部分を含めた北側の校庭は 4800 m ² 程度、緑地部分を除いた南側広場は 1200 m ² 。北と南を合わせて 6000 m ² 程度の屋外運動スペースが確保できる計画です。また、部活動の場所として、志村小跡地に第二グラウンド 2400 m ² 程度を整備する予定です。こちらも含めると 8400 m ² 程度となります。補足として運動できるスペースとして現在志村小体育館が 425 m ² 、志村四中 770 m ² マルチパーパス 640 m ² 、計約 1835 m ² に対し、計画では 2 階体育館約 835 m ² 4 階体育館約 860 m ² 武道場約 360 m ² 、合計 2055 m ² を予定しています。
G3	グリーン カレッジ ホール	小学生はどこで日常的な体育の授業を行うのでしょうか。	中学校との調整となりますが、グラウンドが空いていれば小学校もグラウンドを使用することを想定しています。今後カリキュラムを組んでいく中で活動エリア・時間帯を検討していきます。
G4	グリーン カレッジ ホール	固定時間割がうまく組めるのか教えてほしい。	体育については、グラウンドを 2 つのクラスで使用したり体育館を使用したりすることで、活動ができるというシミュレーションは一定程度行って計画に反映しています。
G5	グリーン カレッジ	カリキュラムを組むうえで、現場とは話しができていますか。	学校とは今後配置計画が決まった上でカリキュラムの検討を行っていく予定です。

NO	会場	内容	回答
	ホール		
G6	グリーン カレッジ ホール	現状の志村小は昇降口 2 ヶ所であるが、計画では 2 階に 1 ヶ所の昇降口とした理由を教えてください。また、雨の日の階段で子供たちが傘をさして移動することへの安全性に配慮してください。	小中の混雑を緩和するために、小中 2 ヶ所に分けて計画しています。現場での混雑の声を聴かせていただいたので、安全性が保てるような広さ等について学校と相談しながら計画していく予定です。
G7	グリーン カレッジ ホール	火災リスクが高い給食室・家庭科室の近くになぜ避難経路を計画しているのか教えてください。また、火災リスクは火より煙なので、避難誘導の専門家にも見てもらうよう検証をお願いします。	建築基準法に則って、給食室のまわりの壁は防火区画がされており燃えにくい材料で計画しております。災害時給食室内で火災があった場合でも、延焼を防ぐ計画としています。
G8	グリーン カレッジ ホール	早めに詳細な時間割を検討し、グラウンドで子供たちが体操の時間が確保できるようにしてください。	屋外活動場所にて子どもたちが体操の時間を確保できるよう、学校の意見も聞きながら設計をしていきます。
G9	グリーン カレッジ ホール	小学校の入口は 1 階が自然だと思います	昇降口の位置については、安全性や使い勝手を考慮し、検討していきたいと思えます。
G10	グリーン カレッジ ホール	エレベーターは 2 台あるが子供たちは利用できますか。	エレベーターの利用を教育員会では禁止していませんが、学校運用で決めていくものだとして認識しています。
G11	グリーン カレッジ ホール	地域利用も考えると体育館のうち、一つは 1 階が望ましいと感じます。1 階に無い理由を教えてください。	荒川氾濫時のハザードマップで 3~5m の浸水が想定されている地域なので、基本構想・基本計画時に 2 階以上に避難所を計画することを決めています。
G12	グリーン カレッジ	プールの利用期間を教えてください。	今後学校と相談して利用期間を決めていきますが、屋根付きのプールとすることで、雨の日の利用ができることを含め利用期間を検討していきます。

NO	会場	内容	回答
	ホール		
G13	グリーン カレッジ ホール	温水プールでなく屋根付きのプールということでもよろしいでしょうか。	温水プールでないが、利用期間に応じて水温に配慮しながら計画を検討していきます。
G14	グリーン カレッジ ホール	正面の入口が狭い側道側となっているが、駅側で無い理由を教えてください。	昇降口の関係で正門としていますが、冒頭の説明でもありましたが北側にも門を計画しています。混雑を避けるために北門・正門・西門を計画しています。
G15	グリーン カレッジ ホール	ホームルームがない計画となっています。ホームベースは生徒の活動拠点とはならないのではないかと危惧しています。また、ホームルームの掲示はどのように考えているのか教えてください。	ホームベースとなりの教室がホームルームとなります。掲示については上板橋第二中では、データ形式にしてタブレットでの共有とする工夫や、ホームベースの内部で工夫して掲示を行っているため、今後の検討で具体化していきます。
G16	グリーン カレッジ ホール	生徒に決まった居場所がなくなるが、ホームベースのロッカーはどの程度の大きさか教えてください。	先行校である上板橋第二中でのロッカーの大きさについての意見を聴きながら、どのような広さが必要か検討する予定です
G17	グリーン カレッジ ホール	ホームベースの入口が一か所で無理がないか教えてください。	ホームベースの入口は開口部を大きくとることで、入口で危険のない計画とします。
G18	グリーン カレッジ ホール	習熟度別の授業ができるのか教えてください。	少人数教室を設けているので、2クラス3展開の授業ができる計画です。
G19	グリーン カレッジ ホール	3学年が移動する際、階段で混雑しないか教えてください。	階段の幅については、広げた分他の寸法が少なくなるので、バランスを考えながら安全な計画とします。
G20	グリーン	上記の点を踏まえて、教科教室型の利点を教	教科教室型の運営により生徒の自発的・能動的学習につながるのが、利点であ

NO	会場	内容	回答
	カレッジ ホール	えてください。	ると考えています
G21	グリーン カレッジ ホール	チャイムの考え方を教えてください。 定期テスト・球技大会・運動会の練習等があり、小中で時間の流れが異なるが、どのように対応する予定ですか。特に共用エリアは出来るのですか。	現在の志村小がノーチャイムで運営していることを確認しています。先行している一貫校では中学校だけチャイムを鳴らす事例もあります。学校と協議しながら望ましい運用にあわせる予定です。
G22	グリーン カレッジ ホール	部活動で第二グラウンドをどのように運営する予定ですか。運動部が利用する場合は、最低3人の顧問が同行する必要があります。熱中症が起きた場合学校内であれば保健室があり対応できるが、第二グラウンドの場合、安全上問題がないと考えているか教えてください。	第二グラウンドにクラブハウスの設置を計画しています。クールダウンできる設備は整備します。国が方針を出している部活動の地域移行に今後取り組む際に、安全な部活動ができるよう検討していく予定です。
G23	グリーン カレッジ ホール	プロムナードの地域使用をどのように考えているか教えてください。生徒がいる時間に開放する予定はありますか。不審者対応に配慮してください。	プロムナードの詳細についてはセキュリティを確保する設えを計画する予定です。地域開放する時間帯は原則子供がいない時間となりますが、土日については小中エリアごとの設定を所管部署と検討する予定です。
G24	グリーン カレッジ ホール	教育活動での屋上の活用は、視線や騒音から地域住民への配慮に欠けると思います。	屋上活用については、近隣への視線や音の配慮なども踏まえ、検討していきます。
G25	グリーン カレッジ ホール	小中一貫校のメリットが見えないため計画を再考すべきと考えます。	他のご意見での回答の通り、計画を見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、設計の修正を行っていく考えです。
G26	グリーン カレッジ	生徒に決まった居場所がなくなるが、不登校が増えるのが心配です。	ホームベースとなりの教室がホームルームとなり、居場所となります。先行する中台中では、生徒が教科専用の部屋に向かうので、授業に対して能動的に前

NO	会場	内容	回答
	ホール		向きになると伺っています。
G27	グリーン カレッジ ホール	女子トイレのブースが何か所か教えて下さい。現在の志村四中のブース数を教えてください。 女子用に5つのブース足るのでしょうか。	女子用に5つのブースを計画しています。 現在の志村四中のブース数は把握できていませんが、先行する上板橋第二中ではトイレ内で回遊できる動線となる工夫をしています。それらを参考しながら混雑緩和につながる工夫を検討していきます。 児童・生徒数に踏まえて、いろいろな学校の事例や標準的な考え方に合わせて必要数以上の設置を検討していきます。 混雑緩和につながる出入口の配置についても、併せて検討していきます。
G28	グリーン カレッジ ホール	学校生活のイメージがつかめません。小中一貫と言いながら、小学校と中学校の校舎は別でバラバラのように感じる。メリットが解かりません。	今回の計画では、小学生と中学生の体格差を踏まえ、主たる教室は、南北に分けた配置とし、動線の交錯をある程度おさえております。しかし、小学生と中学生の交流が図れるよう、南北を繋ぐ中央に交流できるゾーンを設けております。
G29	グリーン カレッジ ホール	小学校と中学校一日の流れを説明する場合、時間を表記して分かりやすくイメージさせてください。	時間を入れた方が分かりやすいというご意見をいただきましたので、その点ふまえ工夫を検討させていただきます。
G30	グリーン カレッジ ホール	教科教室型のメリットを分かりやすく説明してください。特別教室型と比べて、生徒が落ち着いて授業を受けられるのはどちらの方式か、とという観点かを考えてほしいです。	先行した学校でアンケートをとった結果及び教職員へのヒアリングによると、先生がどこの教室にいるか分かりやすいため生徒が相談に行きやすい、また先生の立場としては、授業の準備にとられる時間がないので休み時間も含めて生徒への対応ができるというメリットを伺っています。令和元年度の調査では教科教室型により、学力の向上があったとも伺っています。
G31	グリーン カレッジ ホール	グラウンドが狭く、広い敷地が必要です。第二グラウンドと分かれています、運動会などの学校行事ができないと考えます。365日の学校行事をふまえて計画してください。	現在のグラウンドと比較すると狭くなりますが、計画と同じ広さの学校は区内にあります。学校行事はできている状況なので、工夫できる部分はあるかと思えます。
G32	グリーン	計画地の地盤について古地図含めて調べてい	現在地盤調査を行っています。調査をふまえて校舎の構造や杭を計画してい

NO	会場	内容	回答
	カレッジ ホール	ますか。 森の広場に隣接したマンションに住んでいたが、首都高からの振動が大きく、地盤がゆるい場所です。	きます。
G33	グリーン カレッジ ホール	グラウンドの騒音も含めた近隣住民に配慮した計画としてください。	できることについては最大限に配慮した設計を行っていきたいと考えております。
G34	グリーン カレッジ ホール	発達障害の娘がいますが、千人規模の学校になると集団が苦手な子供は不登校になります。	発達障害のあるお子さんにも配慮した施設となるよう設計をしたいと思っております。また不登校対策にも考慮した設計を行っていきます。
G35	グリーン カレッジ ホール	地域に校庭開放するのか教えてください	校庭は平日部活動で使用しているため開放できる時間が少ないと考えています。土日の第二グラウンドの地域開放は検討している状況です。体育館の地域開放は所管課と協議しながら、学校が利用していない時間帯に開放していく予定です。放課後、南側の広場はあいキッズの利用を想定しており、部活動と重ならないよう検討していきます。
G36	グリーン カレッジ ホール	トイレについてはジェンダー問題があるので、ジェンダー対応は行うのかを教えてください。	ジェンダー対応を含めた誰でもトイレを設置していく予定です。
G37	グリーン カレッジ ホール	7階から5階建ての計画に変更した際、どのように同じ床面積を確保したのか教えてください。	7階建て校舎に比べ5階建て校舎は東西に横長に広げることで、グラウンドや広場の大きさを変えずに、同じ床面積を確保しています。
G38	グリーン カレッジ ホール	小中学校をどのように交流させるのか具体的に説明してください。	例えば、音楽の授業で中学生の合唱を横の小学生が聞くことで日常的な交流を行うとか、先行している一貫校の事例では9年生が4年生に教える交流授業や、3年生の校外学習の際、7年生が同行するなどの仕掛けづくりが考えられます。具体的には学校と検討をすすめていきます。

NO	会場	内容	回答
G39	グリーン カレッジ ホール	小中一貫校のコンセプトを教えてください。	いわゆる中一ギャップの解消と9年間の学びをより充実させていくことが、小中一貫教育のコンセプトと考えています。
G40	グリーン カレッジ ホール	昼休みは、小中学校で重なってしまい、小学校が広場だけで遊ぶのであれば、狭いのではないかと。	学校の考え方になりますが、曜日や時間帯で使用する場所と学年入れ替えなど運用面にて工夫していただきたいと思いますと考えています。設計では、学校運営が可能となる設計を行っていきます。
G41	グリーン カレッジ ホール	中休みはグラウンドで小学生が遊ぶのであれば、うるさそう。中学生の教室は外からの音が入ってこない部屋となりますか。	窓を設置するため、外から音が入ってこない部屋にはなりません、音への配慮した設計とするとともに、授業時間中は、窓やドアを閉めるなど運営面での対応も学校と調整して対応していきます。
G42	グリーン カレッジ ホール	中学校は窓が北側なのか。日差しがはいってこないのであれば、シャキッとすることが難しいと思う。	今回の敷地形状や校舎規模を考えると、教室の一部が北向きになることは避けられないと考えています。また区内にも南側ではなく北側に校舎がある学校はあり、日差しが入らないから前向きになれないなど教育環境に問題があるという報告はないため、この配置にて考えています。
G43	グリーン カレッジ ホール	ホームベースの横の教室で給食を食べるのであれば、そこをホームルームとすればよいのではないのでしょうか。変えることでよくなることは何か教えてほしい。	ホームベースの横の教室にて、ホームルームなどを行うこととなります。教科教室型とすることで、毎時間移動が必要となることで子どもたちが自分自身で時間の意識や先を見越して考えて動くという力がつくことや、先生がどの教室にいるか分かりやすいため生徒が先生に聞きやすいことや、先生の立場としては、授業の準備の時間がとれないので生徒との時間を取りやすい環境がつかれるといったことがあります。
G44	グリーン カレッジ ホール	今より我慢することが増えそうだが、我慢を払拭するくらいよくなることを教えてください。	小学校と中学校が一つの校舎となることで、教員間の打合せがしやすくなり、学力向上を図ることができることや、小学校から中学校への学び方の変化に対応できない子どもの不安を解消できることなどが考えられます。 また平成29年度に国が行った小中一貫教育の調査で、効果として、生徒、児童に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた、上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった、下級生が上級生への憧れを持つようになった、中学

NO	会場	内容	回答
			校への進学に不安を覚える児童が減少した、中1ギャップが解消された、という項目に対して9割以上の市区町村から回答がありました。他自治体の事例より、小中一貫教育の効果が見られています。
G45	グリーン カレッジ ホール	小中学生が混在するのは大変なのはわかるが、これだけ分けると何で小中一貫なのか、志村小の児童だけが特別なのか教えてください。	今回の計画では、小学生と中学生の体格差を踏まえ、主たる教室は、南北にわけた配置とし、動線の交錯をある程度おさえております。しかし、小学生と中学生の交流が図れるよう、南北を繋ぐ中央に交流できるゾーンを設けております。 また志村小の児童だけが特別ということはありません。志村小以外の志村四中の学びのエリア内の小学校とも同様に小中一貫型教育を実施していきます。
G46	グリーン カレッジ ホール	3年間工事でうるさくなるが、既存校舎で我慢してではなく、うるさくならない方法はどのように行うのか教えてください。	低振動・低騒音型の重機の活用や防音パネル・シート、警備員の配置、騒音工事時間帯の制限など教育環境や近隣の方々へ出来る限りの配慮を行いながら、工事を行っていきます。
G47	グリーン カレッジ ホール	小中一貫型学校を区内で拡げていくという説明があったが、次の一貫校の計画があれば教えてください。	小中一貫教育を拡げるという意図であり、誤解であれば訂正します。次の一貫型学校の設置について、現時点で予定しているものではありません。
G48	グリーン カレッジ ホール	現在の志村小のあいキッズと志村城山学園のあいキッズ・学童保育の質は変わらないという認識ですか。	活動場所は変わってきますが、法人に委託して運営していますので、やり方は変わってきますがあいキッズの授業を提供できるという点では、変わらないと思っています。
G49	グリーン カレッジ ホール	現在の志村小は校庭を使って屋外活動を行っているが、森の広場が現在の校庭より狭くなることで、質が悪くなるとは考えられないか。	外のスペースは狭くなるので、屋外活動のやり方は変わってくると思いますが、あいキッズの事業を提供できる施設であると回答させていただきました。
G50	グリーン カレッジ ホール	教科センター方式の利点を教えてください。	令和元年度に行った効果検証では、学習への主体的・能動的な意識や態度が身に付く、時間を考えて行動している。教科教室で学ぶことで授業に集中できるなどの点が効果としてあがり、また先生がどこの教室にいるか分かりやすい

NO	会場	内容	回答
			ため生徒が授業について先生に聞きやすい、先生の立場としては、授業の準備の時間がとられないので生徒に係れるというメリットがあげられます。
G51	グリーン カレッジ ホール	全ての板橋区の学校に教科センター方式が導入する考えですか。	改築する学校に関しては、教科教室型を導入することを基本としている。今後GIGA スクールや学びの環境が変わってくる中で、運営方式を引き続き検討していく必要があると考えています。
G52	グリーン カレッジ ホール	教科センター方式で学力があがるとあったが、内容を教えてください。	コロナの影響で近年は調査できていませんが、令和元年度の調査で出た結果をもとに説明しました。
G53	グリーン カレッジ ホール	魅力ある学校づくり協議会のメンバーはどのように選ばれたのか根拠を教えてください。また、公募する考えはなかったのですか。	協議会のメンバーは、学校に関係のある学校関係者・保護者・地域の町会自治会の団体からご推薦を頂いて選定させていただきました。区の条例で設置される審議会などは区民委員を公募していますが、特定の学校改築の検討の際は公募する考えはありませんでした。
G54	グリーン カレッジ ホール	マンション住まいで町会に入っていないし、PTA 会員であったが、PTA 会長より当時意見を聞かれたことはなかったと思います。魅力ある学校づくり協議会で地域住民のニーズは反映できたと考えていますか。	魅力ある学校づくり協議会では様々な団体を代表して意見を頂いたと考えています。その後志村四中の関係者も入っていただき、28名で検討を重ね、意見書として纏め、板橋区教育委員会が計画を決定しています。令和3年3月の説明会と1か月間の意見募集の期間を設けさせていただいています。令和4年6月に基本構想・基本計画の説明会と意見募集の期間、今回基本設計での説明会と意見募集の期間、様々な段階で意見を募集し計画に反映してきたと考えております。
G55	グリーン カレッジ ホール	魅力ある学校づくり協議会の議事録を読むと、第二回協議会にて一貫校の計画を事務局がリードして決まったと読み取れます。一貫校ありきで進めてきたと考えて間違いではないでしょうか。	議事録をすべて公開しています。一貫校ありきで計画をすすめてきたわけではなく、現地での建て替えを検討したところ、子供への安全・教育環境への影響が大きく難しい状況の中で、検討を重ねて頂いた結果を意見書としていただきました。板橋区教育委員会としては、意見を最大限尊重し、意思決定したものです。
G56	グリーン	魅力ある学校づくり協議会第二ニュース第2号	今回の説明会と同じ説明内容を動画で公開しています。一貫型学校への反対

NO	会場	内容	回答
	カレッジ ホール	にて地域保護者の様々な意見を聞くとありますが、今回3回実施の説明会で地域住民が納得したと考えていますか。	の意見があることは真摯に受け止めさせていただいております。そのような意見に対して一人でも多く納得していただけるよう努力していきます。
G57	グリーン カレッジ ホール	小中一貫校をつくる場合は、よりベターとするために校舎を北側に配置する検討はできないでしょうか。	あいキッズと部活動を安全に分けるために、先行事例にあるネットで区切ることも検討しましたが、物理的に中学校の部活エリアとあいキッズの活動エリアに分けることが安全であると考えました。また、工事中の教育環境として仮設校舎の必要がない等複合的な要因をふまえ、北側校舎配置案ではなく中央校舎配置案で検討をすすめさせていただきたいと思います。
G58	グリーン カレッジ ホール	配置3案から中央校舎案に決定したプロセスを教えてください。	設置検討会のワークショップで検討会メンバーの意見を踏まえ、メリットデメリットを整理し、板橋区で決定しました。
G59	グリーン カレッジ ホール	配置3案の決定について、検討会以外の意見は聞いていないと考えてよろしいでしょうか。	プロセスに則って学校関係者の意見を聞いて、配置を区で決定しています。その中で冒頭ご説明した通り7階から5階にすることで、地域住民の方の声を聴いて圧迫感を低減する工夫を行ってきました。少しでも意見に対し工夫をする努力を行っていきます。
G60	グリーン カレッジ ホール	イメージがわくような説明会が必要と思いましたがいかがでしょうか。	資料に時間が入っていないからイメージがわからないという意見をいただきました。分かり易い資料をホームページで公開していきたいと思います。
G61	グリーン カレッジ ホール	小中学校を別々に建替えた場合と一貫校として建替えた場合の建設コストの違いを教えてください。小中一貫校の場合、国や都からの補助金と、志村小の借地料がどの程度か、いつから支払いしているのか、何年契約をしているのか教えてほしい。	直近の建て替えである板橋第十小が約40億円以上、上板橋第二中が約55億円以上です。プロポーザル時点の一貫校の建設工事費は、昨今の物価上昇を含まれていませんが、約83億円としていますので、小中一貫校を整備する場合と小学校、中学校をそれぞれ整備する場合の建設工事費の違いは、1割程度になるかと思います。また小中一貫校を整備するということについての補助金はありません。借地料含めた契約内容の公表については、公開の手続きが必要と考えており、今回は答弁を控えさせていただきます。

NO	会場	内容	回答
G62	グリーン カレッジ ホール	震災の時、四中の給食室で手伝いをしていました。給食室は大鍋で揚げ物をしていますが、その際中に同様の震災がおきた場合非常に危険があると感じました。子供たちと近隣住民に心の平穏と生活の安全が全てだと思います。武道場と給食室の前に住んでいるものとして、目の前に臭いと騒音と火災の危険がある給食室を配置しないでほしいし、西門を閉じてほしいです。新しい試みをするのではなく、安全を考えて白紙に戻して検討してください。	命が大事ということは当然その通りだと思います。避難所になる関係から、安全な学校となるように、耐火・耐震・水害の面など配慮し、設計をすすめていきたいと思います。
G63	グリーン カレッジ ホール	工事中生徒は一時期我慢しなければならない。しかし住民は一生我慢しなくては行けないのです。戸建て住宅を建てて、子供たちのためだからしょうがないとは言えないです。不安なことについて意見を言ってくださいというが、何も変わらないではないか。すべて反対しようとは思っていないで妥協することは考えています。同じような環境で住めますか。	近隣のみなさまの住環境が変わることに対して、個別に話をさせていただく機会を設けさせていただきます。外構計画で意見を反映させることはできると考えています。学校が新しくなることで地域防災に貢献していますので、引き続きご意見をいただければと思います。
G64	グリーン カレッジ ホール	周辺環境への子供たちによる騒音振動に対する説明があると思いました。地元には迷惑施設となってしまうが今後の段取りはどのように考えているのか教えてほしい。	騒音振動についてはシミュレーションできる部分があるか検討させていただきます。今後の進め方についてですが、来年度実施設計をすすめますと、詳しい状況とスケジュールがはっきりする部分もありますので、タイミングをみてご説明の機会を設けさせていただく予定です。引き続き近隣住民の皆様に対し、個別に意見を伺う対応を続けさせていただきます。
G65	グリーン	中学校の北向きの教室は暗く、事例として現	照明や空調設備を設置するなどの対応を検討し、良い教育環境となる設計を

NO	会場	内容	回答
	カレッジ ホール	状あるのは資料室や相談室のみです。空調がある るので大丈夫というかもしれませんが、採光通風は 大切です。	していきます。
G66	グリーン カレッジ ホール	1 階の特別支援ゾーンについては、中学校ゾ ーンとの連携が分断されている点が気になり ます。	他でもそのようなご意見をいただいております。学校とも協議し、インクル ーシブ教育の視点を踏まえ、特別支援学級の配置を検討したいと思いま す。
G67	グリーン カレッジ ホール	小中学校が離れているので、小中の交流が生 まれなと思います。	今回の計画では、小学生と中学生の体格差を踏まえ、主たる教室は、南北にわ けた配置とし、動線の交錯をある程度おさえております。しかし、小学生と中 学生の交流が図れるよう、南北を繋ぐ中央に交流できるゾーンを設けており ます。
G68	グリーン カレッジ ホール	固定時間割をつくるのはとても大変なので、 作成してください。	学校が固定時間割をつくるのに問題がないよう、学校のご意見も伺いながら、 施設の設計を行っていきます。
G69	グリーン カレッジ ホール	屋根付きのプールは水温が上がりにくいと思 います。	小学校と中学校にて 1 つのプールを使用することから、通常の学校よりプ ール使用期間を長くする整備が必要と考えています。必要な使用期間の算定し、 その期間、使用が可能な設計とします。
G70	グリーン カレッジ ホール	森の広場の南側にビオトープなどの体験型の 学びの環境をつくるのは狭くて難しいと思 います。	外構の設計については、今後となりますが、使いやすくより良い教育環境が整 うような設計を心掛けたいと考えております。
G71	グリーン カレッジ ホール	給食用のエレベーターについて教えてください。	今回は、バリアフリーや、屋上プールへの移動の観点より、一般用エレベ ーターを 2 基計画しております。そのうちの 1 基については、利用時間の制限し、 給食用リフトと兼用を考えております。給食用リフトとして使用する際には、 消毒を行い、衛生面に配慮して使用することを考えております。なお、通常時 のエレベーターの使用については、学校の意見も伺い、運用方法を決めていく こととなります。

NO	会場	内容	回答
G72	グリーン カレッジ ホール	小中学生の献立は分けるべきです。味付けも変わってくると思います。	給食室については1か所ですが、2系統の調理設備を設置するため、小学校と中学校が同じ献立を使用しても、中学生向けは、小学校の献立に加えて品数や食材量等を調節することで、発達に応じた給食の提供が可能となります。
G73	グリーン カレッジ ホール	図書室が狭いと思います。志村四中は敷地が狭いので、別々で計画してほしいです。	9年間の学びや小学生と中学生の交流の場といった観点より今回の計画では、図書館は、小学校と中学校をつなぐ交流ゾーンに一か所として設計しております。小学校、中学校それぞれに必要な蔵書スペースを確保していきます。
G74	グリーン カレッジ ホール	志村小の入学を一度止めて、児童が減少していく中で志村小の改築を進める方法があるのではないのでしょうか。その他の方法で建設することを考えてほしいです。	志村小の入学を止める件については課題も大きい部分かと思っておりますので意見として受け止めさせていただきます。
G75	グリーン カレッジ ホール	多少計画が修正されているのは評価しますが、敷地の広い場所で一貫校をつくるべきだと思います。80mの直走路で100m走の測定ができなくてよいのか疑問が残ります。このままプロジェクトが進められていくことがよいのか検討してほしいです。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
G76	グリーン カレッジ ホール	小中一貫校をつくった場合、中高一貫校をつくらないのか教えてください。	現在、中高一貫校をつくる計画はございません。高校については、東京都の所管であることから、都立学校において実現するものと考えています。
G77	グリーン カレッジ ホール	図面ではわかりづらいので模型を作ってほしい。	わかりやすく、ご希望にそった説明を行いたいと考えておりますが、限られた予算の中での事業であるため、対応は難しいと思っておりますが、できる対応を検討していきます。
G78	グリーン カレッジ ホール	地盤調査を行った結果、地盤が悪い場合、計画を白紙に戻せるのか教えてください。	現在、行っている地盤調査は、杭の長さがどのくらい必要かや、地層の調査になります。そのため、調査結果により白紙に戻るということは、ありません。

NO	会場	内容	回答
G79	グリーン カレッジ ホール	教育委員会にとって学校は何のために建てるのか。	子どもたちに、良いより教育環境を提供するためにつくります。
G80	グリーン カレッジ ホール	子供にとって日照は大切です。グラウンドが日影になるのも問題があります。子供たちのための学校になるのか。	冬至の日においても、日中は北側校庭の約半分は日照があると想定しております。また、水はけが悪いなどの懸念事項もありますので、様々な条件を考慮しながら、設計をすすめていきます。
G81	グリーン カレッジ ホール	教室に入れない児童が多いが、今回の計画で大変な手間になるが、そのような視点で検討されていますか。	不登校対策及び不登校や特別な配慮を必要とする子どもへの対応の視点を持った設計を行います。
G82	グリーン カレッジ ホール	歴史のある志村小を本当に無くしていいのか、郷土愛として地域のコミュニティの中心である小学校を無くしていいのか、もう一度検討してほしいです。	志村小学校は、小中一貫型学校としての整備後も、志村小学校として残りまます。また志村小学校の伝統や歴史については、検討中で、記念樹の移植や歴史を残すコーナーの設置を考えています。また他のご意見での回答の通り、計画を見直すことは考えておりません。
G83	グリーン カレッジ ホール	5階建てにしても、圧迫感やビル風はあると思います。	校舎配置や形状がかわるため、校舎から近隣へ及ぼす影響がかわることは避けられないです。変化する影響に関して、出来る限りの対応をしていきたいと考えております。
G84	グリーン カレッジ ホール	校舎建設後の解体工事の騒音と振動も気になる。	低振動・低騒音型の重機の活用や防音パネル・シート、警備員の配置、騒音工事時間帯の制限など教育環境や近隣の方々へ出来る限りの配慮を行いながら、工事を行っていきます。
G85	グリーン カレッジ ホール	小中一貫校は敷地に余裕のある場合に実施すべき。	小中一貫型学校の設置は、学校改築期を捉えて検討しています。他のご意見での回答の通り、計画を見直すことは考えておりません。
G86	グリーン カレッジ ホール	仮設校舎については北前野小学校そばの土地で建設できるのではないかと。	北前野小近くの公有地を借りるための交渉を東京都に行った際、敷地は貸せないとの回答がありました。東京都消防庁の訓練場が整備される計画があり、設計の事業者が決まり、事業が進んでいるとの認識であるため、公有地に仮設

NO	会場	内容	回答
			校舎は、建てられないと考えています。
G87	グリーン カレッジ ホール	再度、中央配置と北側配置を 3D によって、再度検討してほしいです。	校舎は、現在の中央配置が最善として進めているため、再度の北側配置との比較検討は行いません。
G88	グリーン カレッジ ホール	地盤調査の結果は公表されますか。	結果の公表は、考えておりませんが、設計業務完了後に必要な手続きを取っていただくことで、調査結果を開示することは可能になります。
K1-1	意見書	なぜ小中学生に必要な校庭の広さの確保を重視しない設計になっているのか。	志四中の敷地にて、現在の志四中、志村小と同等の広さの校庭を確保しようとすると、校舎が高層化するため、学校運営を踏まえ、小中の屋外活動場所の物理的分割を優先し、現在の校庭の広さとなっています。現在の計画の広さにおいても、学校運営はできないとは考えておりません。今後も、学校と話し合いながら、より良い施設となる設計を進めていきます。
K1-2	意見書	心の成長と学力の土台づくりにかかせない読書の間である図書室を、小学生と中学生それぞれに準備しないのか。	9年間の学びや小学生と中学生の交流の間といった観点より今回の計画では、図書館は一か所として設計しており、小学校、中学校それぞれに必要な蔵書スペースを確保していきます。
K1-3	意見書	意見ですが、この狭い敷地で計画するのに、交流テラス、プロムナード、武道場は必要ないと思います。	今回の設計では、地域交流や登下校分散、運動場所の確保、部活動の実施といった観点より必要と考えております。教育環境の充実や地域との連携協働していくために必要な整備を行っていきます。
K1-4	意見書	過去に耐震偽装にかかわった松田平田設計、杉並区で地質調査報告書を改ざんしていた教育施設研究所の共同企業体に設計をすることはどういふことでしょうか。ここに設計を委託した理由を教えてください。	設計委託は、公募型プロポーザル方式を実施し、書類審査、プレゼンテーションによる提案より、委託事業者を決定しました。
K1-5	意見書	ロコミサイトでは、都内のほとんどの小中一貫校は、評判が悪く得点が低いです。このこと	ロコミサイトでの評判にて小中一貫型学校の決定をしているわけではございません。したがって分析もしておりません。

NO	会場	内容	回答
		を把握されていますか。またこの原因を分析されていますか。	
K2-1	意見書	現地に志村小を残すことを希望する。	志村小学校の現地改築を検討しましたが、工事期間が6年間に及ぶため児童の学校生活に与える影響が大きいこと、北前野小学校前の都営住宅跡地をはじめ、大規模な土地の確保ができないことから工事期間中の移転も難しく、志村小敷地での改築は困難であるという結論に至りました。
K2-2	意見書	北向き校舎であることや特支学級の中学生在が通常級の中学生と分断されていることなどが問題である。	今回の敷地形状や規模を考えると、教室の一部が北向きとなることは避けられないと考えています。教室が北向きとなることは、日照の観点から考えると、避けられるなら避けた方がよいと考えますが、絶対に避けなければならない事項とは考えていません。 特別支援学級の配置は、特別支援学級の1から9年生までの「つなぐ」を意識した結果であります。隔離しているのでは、というご意見もいただいているため、インクルーシブ教育の視点も踏まえ、学校とともに配置の再検討を行います。
K2-3	意見書	今の計画だと固定時間割をつくるのが困難であるので、学校運営が可能な室数や機能をもった計画とするべきだ。	基本構想・基本計画にて、学校運営が可能となる室とその室数を定め、その結果をもとに、学校とも協議しながら設計を進めております。今後も、学校と協議しながら、学校運営に支障がないよう設計を進めていきます。
K2-4	意見書	小中の児童生徒が親しくなるような、構造になっていない。	今回の計画では、小学生と中学生の体格差を踏まえ、主たる教室は、南北にわけた配置としておりますが、南北を繋ぐ中央に交流できるゾーンを設けております。
K2-5	意見書	地域の声をもとに北側校舎配置案を考えましたので、ご参考にしてください。	お提案ありがとうございます。しかしながら、校舎配置は部活動とあいキッズの活動エリアを物理的に分けられる点や、工事期間中、現在の校舎を利用することで屋外活動以外は学習環境を保てる点から今の中央配置にて進めます。いただいたお考えの中で活かせることは、参考にさせていただきます。

NO	会場	内容	回答
K3-1	意見書	説明会の出席者からは、一貫校とすることや、北側配置にすることなど納得を得られていなかったもので、再度、説明会を行ってください。	<p>少しでも多くの方に理解いただけるよう、これからも丁寧な説明に努めます。一貫校とすることや北側配置にすることなどの検討経過については、区のホームページに載せております。設計に関する説明会の実施については検討してまいります。</p> <p>●基本構想・基本計画から設計までの経過についての情報 https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/joho/kaisyu/1038158/1037615.html</p> <p>●志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会の進捗状況 https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/houshin/plan/1030903.html</p> <p>●魅力ある学校づくり協議会（志村小・志村四中） https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/houshin/plan/1014924.html</p>
K3-2	意見書	現在、挙げられている心配や問題点を上回る一貫校の利点を説明してください。	<p>先行する自治体では、小学生にとって中学生が身近な存在となることで、近い将来の自身を描きやすくなることや中学生に憧れを持つこと、中学生は小学生に対する優しい心を持つようになるなどの効果が確認されています。</p> <p>教職員においても、同じ校長の下、1つの組織となることにより小中の理解が深まり、日常的に9年間を見通した指導を経験、学ぶことにより指導力への効果で利点があります。</p> <p>教職員への効果は、児童・生徒への効果に繋がるとともに、小中一貫型学校の成果は、区内の他校においても広められるものが多いと考えています。</p>
K3-3	意見書	志村小での単独改築ができないことの説明に納得がいきません。万策を尽くした記録をお示しください。	<p>単独改築ができないわけではありませんが、工事期間や工事中の児童の安全、小中一貫教育の推進を踏まえ、今回の一貫型学校としております。これまでの検討経過については、区のホームページに載せておりますので、ご確認ください。</p>

NO	会場	内容	回答
			<p>●基本構想・基本計画から設計までの経過についての情報 https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/joho/kaisyu/1038158/1037615.html</p> <p>●志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会の進捗状況 https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/houshin/plan/1030903.html</p> <p>●魅力ある学校づくり協議会（志村小・志村四中） https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/houshin/plan/1014924.html</p>
K3-4	意見書	一貫校とすることの合意形成に疑問が残ります。問題点も正直に説明した上で校名アンケートと同程度の賛否調査を求めます。	小中一貫型学校とすることについては、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、賛否調査を行うことは考えておりません。
K4-1	意見書	今回の計画は、大変無理があるので、一度立ち止まってより良い方法を検討すべきだと思います。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
K4-2	意見書	志村四中は、水害時の避難場所として不適だ。	現在、志四中は、荒川の氾濫警戒時にて避難所として開設されることとなっております。ただし、1階部分が浸水する恐れがあるため、2階以上が避難スペースとなっております。
K4-3	意見書	時程が異なり、用意すべき環境が異なる小学生と中学生を一緒にすることは無理がある。また校庭も狭くなり、部活動も制限されることから無理があると思う。	志村小で取り入れられているノーチャームによる運営をはじめ、学校運営の中で工夫は必要な部分はありますが、学校運営は可能だと考えています。
K4-4	意見書	中学生は、教科教室型となることで、自分の教	クラスの掲示物は、ホームベースやその周辺で確保することを検討しており

NO	会場	内容	回答
		室を持たなくなり、自分たちのクラスの掲示物をはることもできなくなるため、自分たちの安心出来る居場所が持てないのではないか。	ます。また居場所についても校舎の様々な場所に、子どもたちの安心出来る居場所となるスペースを検討していきます。今後の詳細設計の中で、学校の意見も伺いながら決めていきます。
K4-5	意見書	図書室は、3階にひとつしかない。小中が共同で使用するようになっているが、小学生は安心して行けないのではないか。	生徒・児童が安心して利用でき、使いやすい計画となるよう設計を進めていきます。
K4-6	意見書	トイレの数の説明はあったが、とても足りないと思う。	設置基準を満たし、生活動線や配置場所も考慮し、足りないなど不便のない計画としていきます。
K4-7	意見書	一旦立ち止まり区民、住民と話し合い、より良い方策を考えていくべきである。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
K5-1	意見書	プールは小中共用ですが、底が上下するタイプのものでしょうか。だとしたら故障しやすく維持管理が大変になるのではないかと思います。	水深調整については、床が上下する可動床や水位調整による運営も踏まえ、検討していきます。
K5-2	意見書	小中一貫カリキュラムは提示されないのでしょうか。小中一貫カリキュラムを実施するために施設一体型一貫校にするのが本来のあり方だと思うのですが、あくまで2校をまとめる目的が先行しているのでしょうか。	板橋区では、小中一貫ガイドラインに基づき、令和2年度から、小中一貫教育を開始しております。令和4年度より小中一貫教育を完全実施し、22の学びのエリアにおいて、それぞれが創意工夫をして、教育活動を実施しております。また、板橋のiカリキュラムによって、発達段階に応じた指導内容を示しているところです。従って、板橋区では、施設等の環境に関わらず、小中一貫教育を推進して、2校をまとめる目的が先行しているわけではありません。
K5-3	意見書	敷地が狭く、約950名の児童生徒が過密になることが懸念されます。大阪府池田市細郷学	一か所に集中しないよう、屋外、屋内の活動場所をそれぞれ2カ所に分けています。室の配置についても動線に配慮しながら、設計を進めていきます。

NO	会場	内容	回答
		園では、校庭の過密により骨折事故が急増したそうです。	
K5-4	意見書	小学校を今の敷地から移動させ、ほぼ千人の児童生徒を狭い敷地に押し込めるのは、児童生徒の成長・発達にとって支障が生じるのではないか。	敷地面積や学級数が同規模の教育施設の事例においても、成長・発達に支障が生じているということは伺っておりませんので、そのようなことはないと考えています。少しでも子どもにとって良い環境となるよう設計を進めてきたいと考えています。
K5-5	意見書	保護者、地域にとっても多くの同意形成をしていく重要事項の決定が、「ワークショップ」でよいのでしょうか。説明会、審議、合意形成といった手順を踏むべきでは。	学校教育にご尽力いただいております、事情に詳しい方や、俯瞰的な地域の声をいただける方を地域の代表として、ご意見をいただいておりますが、ワークショップでの地域の代表の方々のご意見から、決定をしているわけではありません。ワークショップでのご意見を地域の意見とし、それに加え、学識経験者や委託事業者からの知見も踏まえ、教育委員会事務局にてとりまとめをしています。とりまとめた事項を教育委員会や議会にて報告をし、決定しております。
K6-1	意見書	今までの説明で納得いく説明を頂いたとは思っていませんので、再度の地域説明会を求めます。また改めて計画を考え直していただきますよう強く依頼いたします。	これまでの検討経過については、区のホームページに載せておりますので、ご確認ください。設計に関する説明会の実施については検討します。 ●基本構想・基本計画から設計までの経過についての情報 https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/joho/kaisyu/1038158/1037615.html ●志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会の進捗状況 https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/houshin/plan/1030903.html ●魅力ある学校づくり協議会（志村小・志村四中） https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kyoikuiinkai/houshin/plan/1014924.html また小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想に

NO	会場	内容	回答
			については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
K7-1	意見書	小学生中学生共用でのプールとなる予定のようですが、水深調整はどのようにされるのでしょうか。	水深調整については、床が上下する可動床や水位調整による運営も踏まえ、検討していきます。
K8-1	意見書	中学校においての教科教室型に反対します。以前のような特別教室型の検討を願います。	区が令和元年12月に取りまとめた「オープンスペース型運営方式・教科センター方式検証報告書」での分析結果、成果を踏まえ、教科教室型を採用しております。
K8-2	意見書	校庭が狭すぎることや中学生は、三年間北側にある教室を使用するなどデメリットがあります。もう一度計画を立ち止まってみてはいかがでしょうか。本当に志村小の建替えて6年間もかかりますか。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。 また志村小の単独改築については、擁壁の作り替えが必要であること、既存校舎を一部使いながらの段階整備になること、接道が1か所のみで児童の安全確保のため工事車両の寸法制限がかかること、周辺道路が狭く大型車両の通行ができないことなどから6年間程度かかると考えています。
K9-1	意見書	一貫校はあきらめ、志村小は残し、志四中の建て直しに変更すべきと強く思います。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、変更することは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
K10-1	意見書	中学生の8割のホームベースと教室が北向きと	今回の敷地形状や規模を考えると、教室の一部が北向きとなることは避けら

NO	会場	内容	回答
		なっていることは、成長期の生徒の心身の健康にとって、非常に良くないので、改善が必要と考えます。	れないと考えています。また他事例において北向きであることが、成長期の生徒の心身の健康にとって、非常に良くないという報告はなく、夏季においては、暑さ対策になるとも聞いています。
K10-2	意見書	校舎の北側の日照の悪い校庭は、特に冬の時期に児童・生徒が運動に適した体温上昇を促すことを妨げてしまいます。	冬至の日においても、日中は北側校庭の約半分は日照があると想定しております。また、水はけが悪いなどの懸念事項もありますので、懸念事項にも考慮しながら、健康的に使いやすい校庭となるよう、設計をすすめていきます。
K10-3	意見書	提案された校庭の中で、砂場が見当たりません。体力測定にも必要な砂場はどこに設置されるのでしょうか。	外構の詳細設計はこれからになります。今後、学校の意見も伺いながら、設置場所について検討してまいります。
K10-4	意見書	提案された校舎配置図で、給食用リフトが見られません。一般用のエレベーターを使うのは衛生的に問題があると思います。	今回は、バリアフリーや、屋上プールへの移動の観点より、一般用エレベーターを2基計画しております。そのうちの1基については、利用時間の制限し、給食用リフトと兼用を考えております。給食用リフトとして使用する際には、消毒を行い、衛生面に配慮して使用することを考えております。なお、通常時のエレベーターの使用については、学校の意見も伺い、運用方法を決めていくこととなります。
K11-1	意見書	一貫校ではなく、小学校と中学校をそれぞれの敷地で改築すれば、何の問題もないと思います。北前野小学校の近くにある都有地を志村小改築の代替地として、真剣に交渉することを強く望みます。	北前野小近くの都有地を借りるものの交渉を東京都に行った際、敷地は貸せないとの回答がありました。東京都消防庁の訓練場が整備される計画があり、設計の事業者が決まり、事業が進んでいるとの認識であるため、再度の交渉はしません。
K11-2	意見書	地域住民の避難場所として志村小学校の敷地を手放すことは、防災の観点から見逃すことはできません。	志村小学校の区有地部分の跡地は、第二グラウンドやクラブハウスなど一貫型学校の運営や防災物資の保管倉庫など地域活動を補填できる整備を行う方針です。
K11-3	意見書	給食において、小学校と中学校ではカロリーの点からも献立の点からも一緒にすることは、も	給食室については1か所ですが、2系統の調理設備を設置するため、小学校と中学校が同じ献立を使用しても、中学生向けは、小学生の献立に加えて品数や

NO	会場	内容	回答
		とも無理があります。さらにアレルギー対策のためにも小中別々でなければ対応は極めて難しいと思われます。	食材量等を調節することで、発達に応じた給食の提供が可能となります。アレルギー対策についても、栄養士2名により小学校と中学校で別々に対応していきます。
K11-4	意見書	学校図書館の役割を考えた場合、今回の設計では、中途半端な形になっています。子どもたちの学力を考えた場合、学校図書館の果たす役割は絶大なものがあります。図書の選別、利用の仕方からも今回の設計に大いなる疑問を持ちます。	9年間の学びや小学生と中学生の交流の場といった観点より今回の計画では、図書館は、小学校と中学校をつなぐ交流ゾーンに一か所として設計しております。図書の選別、利用の仕方にも関連する詳細の設えについては、今後の設計で検討していきます。
K11-5	意見書	中学校の教科教室方式は、心のよりどころである教室を奪うことによって、不登校の増加を招くだけではないでしょうか。教科教室型を取り入れている中学校では、ロッカーに自分の持ち物を入れることができず、重たい教材・教科書を持ち歩かざるを得ず、脱臼した生徒もいると聞いています。よく実情をつかんだうえで設計されることをお勧めします。	既に教科教室型を実施している中学校において、不登校生徒が増加しているという結果はでておりません。教科教室型を実施している区内や他自治体の学校からの意見も伺い、設計の中で解決できる問題は、解決するようにしていきたいと考えております。
K12-1	意見書	建物・敷地の全体像や状況がわかるようなパース・模型を提示してください。	今後、必要に応じてパースを作成していく考えです。また全体模型を作成する予定です。
K12-2	意見書	建物・設備及び学校活動（児童・生徒の学校生活）による周辺への環境影響評価を行い、それに対してどのように対応するのかを提示してください。	環境影響評価（環境アセスメント）については行いませんが、設計委託事業者とも協議の上、近隣に配慮した設計を行いたいと考えております。
K12-3	意見書	学校活動・運営において、近隣住民や地域との連携をどのように行っていくのか提示してください。	基本構想基本計画の策定段階でのワークショップにて、地域がどのように学校に関わりたかなどについて、小中一貫型設置検討会の検討委員の方々より伺ったご意見をもとに、配置・ゾーニングなどの基本設計を行っております。

NO	会場	内容	回答
			す。この校舎を使ってどのような連携を行っていくかは、今後、学校や地域とともに作りあげていくこととなります。
K12-4	意見書	計画案に対する反対意見が多数ある中で、なぜ、この計画を無理に押し進めようとするのかお聞かせください。また、賛成意見があるのであれば、どのような意見か教えてください。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。過程を経て、現在の基本設計案に至っているため、地域代表者や議会からは一定以上の賛同を得ていると考えています。また改築に関するアンケートの、自由意見の中で、こんな学校にしてほしいなどの前向きなご意見もいただいております。
K12-5	意見書	この計画については、当初から地域や学校関係者の代表のみで検討を行い、近隣住民にすら何も知らされておらず、勝手に検討を進めていました。町会回覧板での提示やホームページで掲載していたからよいという考え方は、今時通用はしませんが、どのようにお考えですか。	現在の周知方法で十分とは思っておりません。より良い周知を行っていきたいと思っております。令和4年6月に開催した基本構想基本計画の説明会では、周知不足のご意見をいただきましたので、近隣の方々に、ポスティングを行うよう改善いたしました。また基本設計説明会では、説明会に出席できない方にも説明内容がわかるように、説明動画の公開も行っております。今後も、広く確実に周知でき、かつ合理的な方法を模索しながら、周知方法の改善に取り組んでいきたいと思っております。
K12-6	意見書	決定経緯に瑕疵あります。あまりにも住民軽視です。今一度、立ち止まって、区民と対話・連携しながら計画をチェックして、地域にも受け入れられる、よりよい学校づくりを行っていくことが必要であると考えますが、お考えをお聞かせください。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
K12-7	意見書	「行政の無謬性」という考え方を改め、「アジャイル」型の政策検討を行うべきであると考えますがどうですか。	現在の進め方にて、改善すべきところは、今後の改築事業等では、改善していきたいと考えております。

NO	会場	内容	回答
K12-8	意見書	説明会での意見・回答、本意見・質問に対する回答・対応について、HP への掲載を行ってください。	HP に掲載致します。
K13-1	意見書	志村四中と志村小を1つにする計画には、無理がありすぎると思っています。この計画をもう一度見直してほしいです。	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。
K14-1	意見書	今までの中学1年生、2年生、3年生は、7年生、8年生、9年生と呼ばれている。これは彼らを小学7年生、8年生、9年生という概念に置き換えるものと理解して間違いはないか。これにより、高校受験を目指すのは、中学3年生ではなく小学9年生ということになり、また中には卒業後社会に出る子もいると思うが、これで「最高学年としての自覚」や「社会人となるための意識」が生まれるという根拠についても、併せてお示しいただきたい。	学校教育法第32条及び第47条により、小学校の修業年限は6年、中学校の修業年限は3年と定められており、小学校7年生、8年生、9年生と考えているわけではありません。エリアの7年生、8年生、9年生という表記は、小・中学校の教員が義務教育9年間の「学びの連続性」を意識した指導ができるように、また、板橋区の児童・生徒が小学校と中学校のつながりを意識できるように、中学校での呼称を変更したものです。 「最高学年としての自覚」や「社会人となるための意識」は、教育活動全般で高めていくものであり、学年の呼称によって影響を受けるものではないと考えています。
K15-1	意見書	教育的観点から、なぜ「小中一貫型学校」が必要なのか分からないからです。本当に教育的観点から大事な「小中一貫型学校」建設であるならば、今後、板橋区内の学校は続いて「小中一貫型学校」として行くべきです。説明会でもこの基本的な観点について、答えられていなかったのので、説明会を再度開くよう求めます。	施設一体型とすることにより、移動がなくなるため教員間の打合せがしやすくなる、9年間の学びをより一体化したカリキュラムにして学力向上を図ることができる、小学校から中学校への学び方の変化に対応できない子の不登校を解消する、などのメリットがあると考えています。 平成29年度に国が行った小中一貫型教育の調査で、効果として、生徒、児童の思いやりや助け合いの気持ちが育まれた、上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった、下級生が上級生への憧れを持つようになった、中学

NO	会場	内容	回答
			<p>校への進学に不安を感じる児童が減少した、中1ギャップが解消された、という項目に対して9割以上の市区町村から回答がありました。他自治体の事例より、小中一貫校の効果が見られています。</p> <p>今後の小中一貫型学校の整備については、令和8年度からはじまる、魅力ある学校づくりプランの後期計画における整備計画の中でお示しできるよう、検討を進めているところです。</p>
K15-2	意見書	小学生と中学生の動線が区別されているようであるが、そうであるならば何故、「小中一貫型学校」なのか。	今回の計画では、小学生と中学生の体格差を踏まえ、主たる教室は、南北にわけた配置とし動線の交錯をある程度おさえております。一方、小学生と中学生の交流が図れるよう、南北を繋ぐ中央に交流できるゾーンを設けております。
K15-3	意見書	<p>地域住民の方々にとっては寝耳に水の7階建て校舎建設だった。そのことにも驚きましたが、地域の方に配慮して5階建てに設計変更すればその分、校庭は狭くなる。</p> <p>生徒一人あたりのスペースが狭くなるのは当たり前前のこと。</p> <p>そもそも無理な計画は、いったん中止。立ち止まって考え直すことを要望します。</p>	小中一貫型学校とすることや、校舎中央配置とする基本計画基本構想については、地域や学校などの様々な角度から時間をかけて十分に検討した計画であり、教育委員会や議会に報告し、決定したことであるため、見直すことは考えておりません。本日いただいた基本設計に関するご意見については、検討させていただき、対応できるものについては、修正を行っていく考えです。